

平成26年3月期 第2四半期決算説明会

平成25年11月27日

株式会社 学究社

(証券コード:9769)

I . 決算概要	P.3
II . 今期の戦略	P.8
III . 参考資料	P.17

I . 決算概要

(単位:百万円、%)

	平成25年3月期 2Q累計	平成26年3月期 2Q累計		前年同四半期比	
	金額	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	3,945	4,191	100.0	245	6.2
営業利益	753	573	13.7	△180	△23.9
経常利益	756	578	13.8	△178	△23.5
四半期純利益	441	315	7.5	△125	△28.5

前年同四半期との比較

- 「ena」(集団授業)、「マイスクールena」(個別指導)に関する生徒数は順調に推移

▶ 対前年比で売上高増加

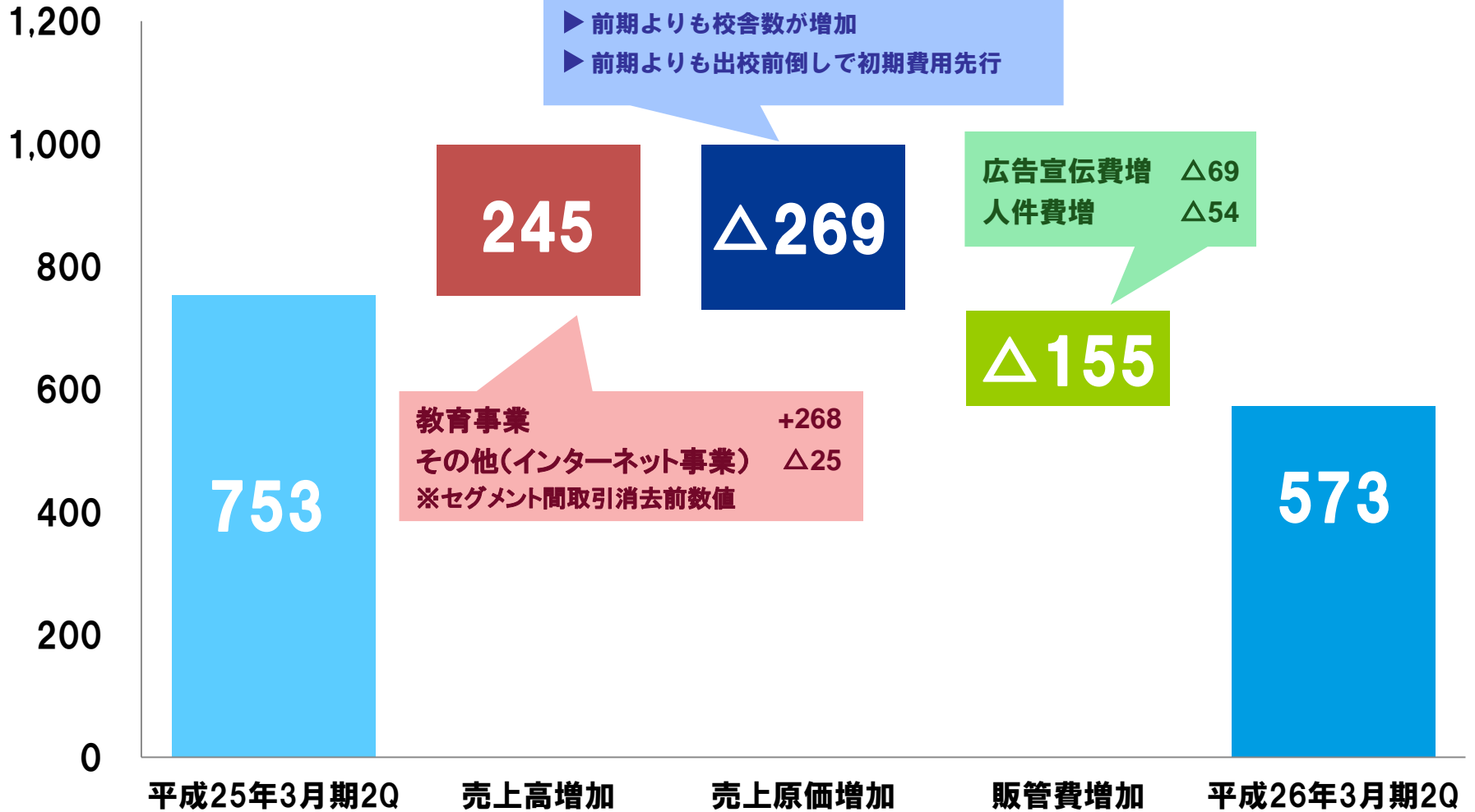
- 生徒数獲得に向けた広告宣伝強化による経費増

- 計画前倒しで行った新規出校により初期投資が先行

▶ 対前年比で利益減少

営業利益の減少要因

(単位:百万円)



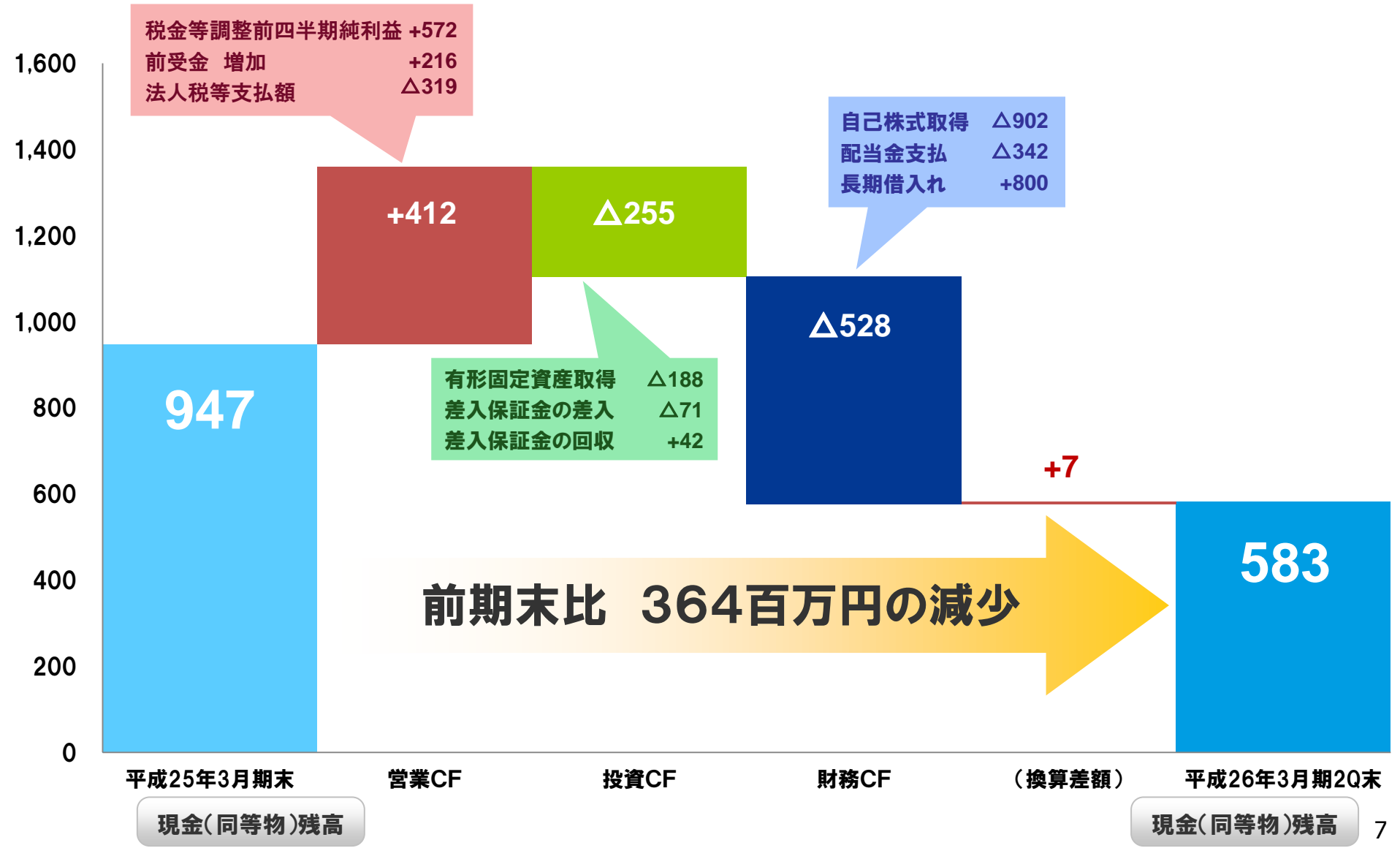
貸借対照表（連結）

（単位：百万円、％）

	平成25年3月期末		平成26年3月期 2Q末			主な増減要因
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	
流動資産	1,346	27.4	970	21.1	△376	資産 ●現預金の減少(配当金、法人税等の支払い) ●新規出校に伴う固定資産の増加
固定資産	3,571	72.6	3,632	78.9	60	
資産合計	4,917	100.0	4,602	100.0	△315	
流動負債	1,779	36.2	1,819	39.5	39	負債 ●自己株式取得資金として長期借入れ (800百万円)
固定負債	358	7.3	931	20.2	572	
負債合計	2,138	43.5	2,750	59.8	612	
純資産合計	2,779	56.5	1,852	40.2	△927	純資産 ●自己株式900百万円の取得 ●配当金346百万円の支払い ●四半期純利益315百万円の計上
負債・純資産合計	4,917	100.0	4,602	100.0	△315	

学究社 キャッシュ・フロー計算書（連結）

（単位：百万円）



Ⅱ. 今期の戦略

平成26年3月期 業績予想 (連結)

(単位:百万円、%)

	平成25年3月期 実績		平成26年3月期 予想			
	2Q累計	通期	2Q累計 (実績)	前年同期比	通期	前年同期比
売上高	3,945	7,990	4,191	6.2	8,660	8.4
営業利益	753	1,073	573	△23.9	1,070	△0.3
経常利益	756	1,081	578	△23.5	1,080	△0.2
純利益	441	559	315	△28.5	610	9.1
一株当たり 当期純利益	76.48円	96.89円	57.69円		111.51円	
営業利益 高率	19.1%	13.4%	13.7%		12.4%	

1. 都立中高一貫校、都立難関高校の対策塾へ他塾に先駆けシフトチェンジ

- ・都立復権、コストパフォーマンスにより、都立中高一貫校、都立難関高校の人気の高まることを予期し、この新しい市場への対応を中心とする進学塾へ他塾に先駆けてシフトチェンジ。
- ・他塾では、私立中高一貫校、名門私立大学付属中高という従来からの市場への対応を中心としているため、この新しい市場において、他塾を大きく引き離している。

2. 都立中高一貫校受検における抜群の合格実績

- ・平成25年度入試において、全都立中高一貫校11校(含区立九段中)に514名(前年度401名)合格し、合格者数実績No.1を獲得することができた。
- ・立川国際中、南多摩中、三鷹中、武蔵高附属中、大泉高附属中、富士高附属中の6校において、合格者数実績No.1を獲得することができた。

3. 都立難関高校受験における高い合格実績

- ・平成25年度入試において、315名(前年度308名)の合格実績を出すことができた。
- ・国分寺高、国立高、立川高の3校において、合格者数実績No.1を獲得することができた。

合格実績

全都立中11校合計で1位を獲得

都立立川国際中	102名	(占有率69%)
都立南多摩中	87名	(占有率54%)
都立三鷹中	86名	(占有率54%)
都立武蔵高附属中	78名	(占有率65%)
都立大泉高附属中	46名	(占有率38%)
都立富士高附属中	39名	(占有率33%)
都立小石川中・都立桜修館中・ 都立白鷗高附属中・都立両国高附属中・ 区立九段中	76名	

※都立立川国際中の占有率は一般枠定員に対する数値です。

都立難関高校

都立国分寺高	77名	(占有率24%)
都立国立高	74名	(占有率23%)
都立立川高	62名	(占有率20%)
都立八王子東高	49名	
都立西高	37名	
都立戸山高	10名	
都立日比谷高	6名	

合計
514名

※上記実績には区立九段中を含みます。

※全都立中11校の一般定員合計に対する占有率は32%です。

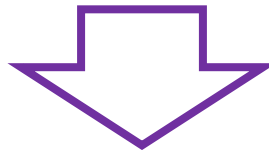
合計
315名

1. 少子化による教育関連市場の縮小

教育関連業界全体では、少子化の影響で市場規模が縮小傾向にある。しかしながら、東京都内及び近郊エリアに限ってみれば、人口流入により学齢人口の増加が続いている。

2. 不況による教育費支出への影響

各世帯において、私立中学・高校への進学という投資が卒業後の進路にどのような成果をもたらすかという視線が厳しくなる中、都立中高一貫校及び都立難関高校の人気が高まっている。



当社の強みを生かし、都立中高一貫校・都立難関高校入試の合格実績シェアをさらに高めていく。

G 学究社 具体的施策1 新規校舎展開

No.1を獲得していない都立中・高の強化。



積極開校
予定エリア

【今期開校予定】

- ・ena19校舎
- ・マイスクールena
3校舎

（この内6月開校
ena 5校舎
マイスクールena 3校舎）

当社がNo.1を獲得していない都立中高一貫校(■)、都立難関高校(◆)、ena校舎の出校状況。(平成25年3月31日現在)

※開校数及び開校時期は、不動産市況・物件状況・経営環境によって変更される場合があります。

2. 人的資産の充実

校長候補を中心に年間50名程度の採用。研修の充実。

3. 新要項と新テキストの運用

①週2回の通塾で合格できる仕組み

②月額授業料2万円以下

③過去問を中心としたオリジナルテキスト

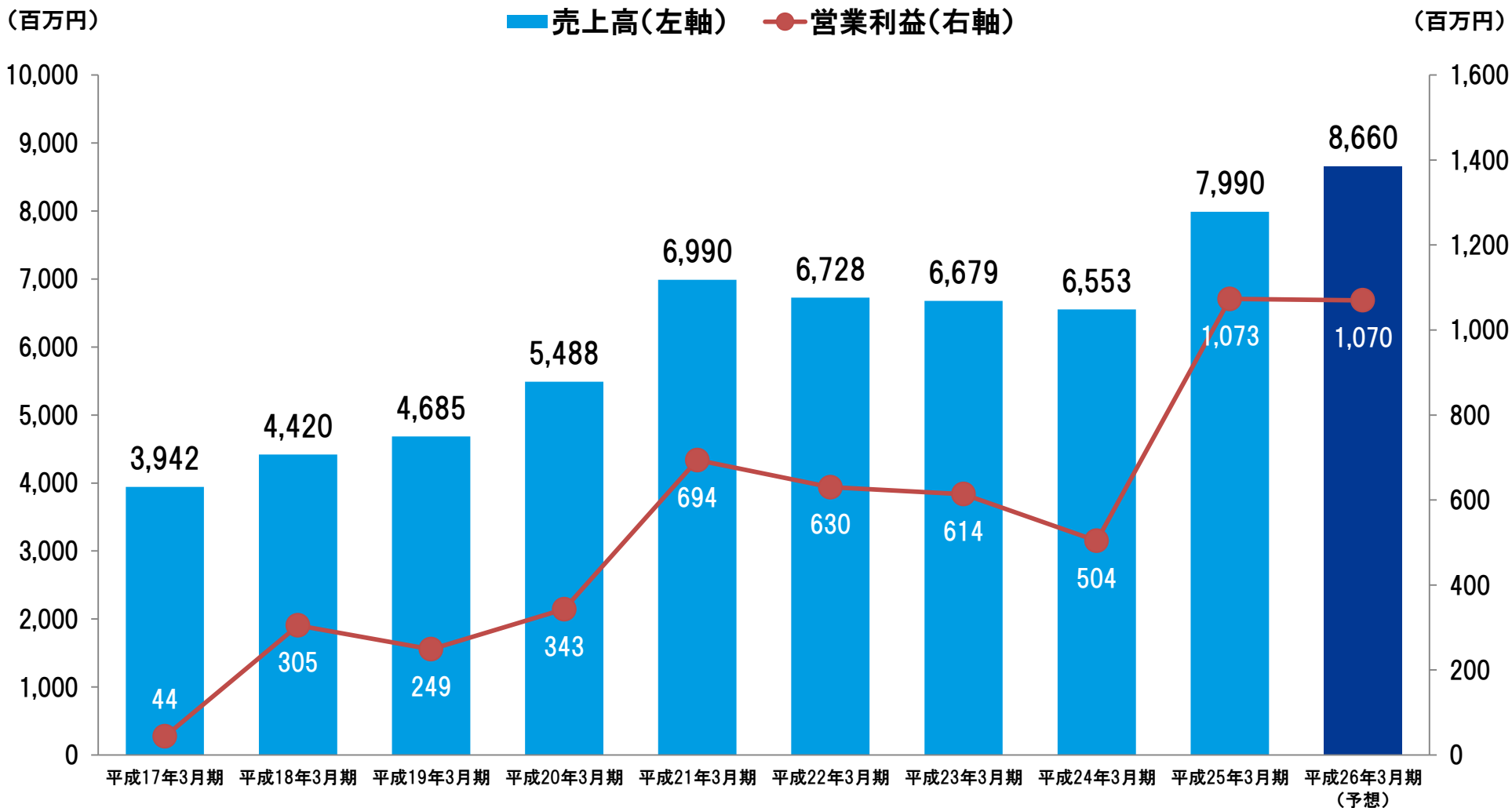
④特別講座(オプション)により週3回以上の通塾も可能

⑤都立中高と私立中高の同時合格

4. 校舎ブログの充実

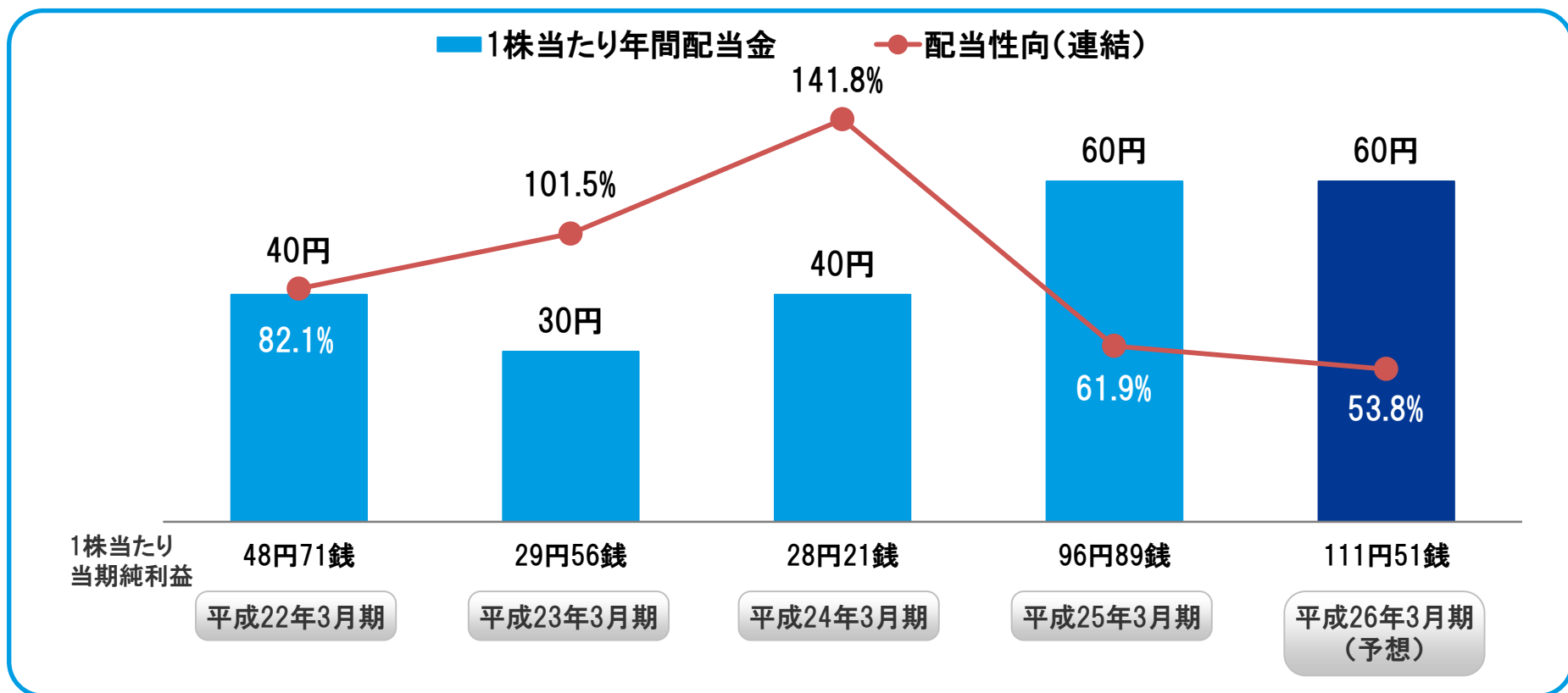
全ての校舎が、校舎単位で、最新情報をブログで配信

業績の推移



※平成25年3月期より会計方針の変更を行ったため、平成24年3月期については、当該会計方針の変更を反映した遡及処理後の数値となります。

株主還元



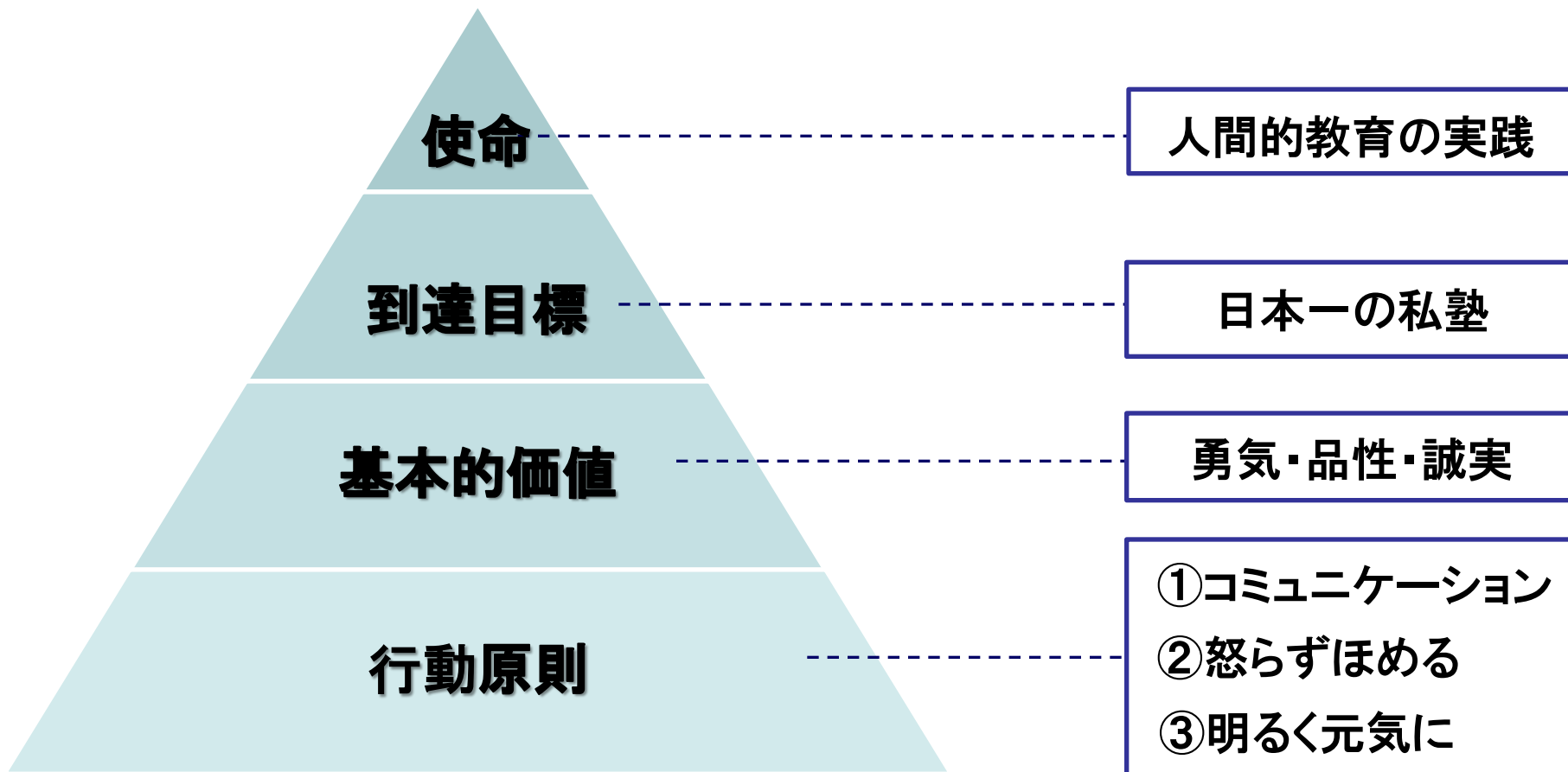
※平成25年3月期より会計方針の変更を行ったため、平成24年3月期については、当該会計方針の変更を反映した遡及処理後の数値となります。

利益配当の基本方針

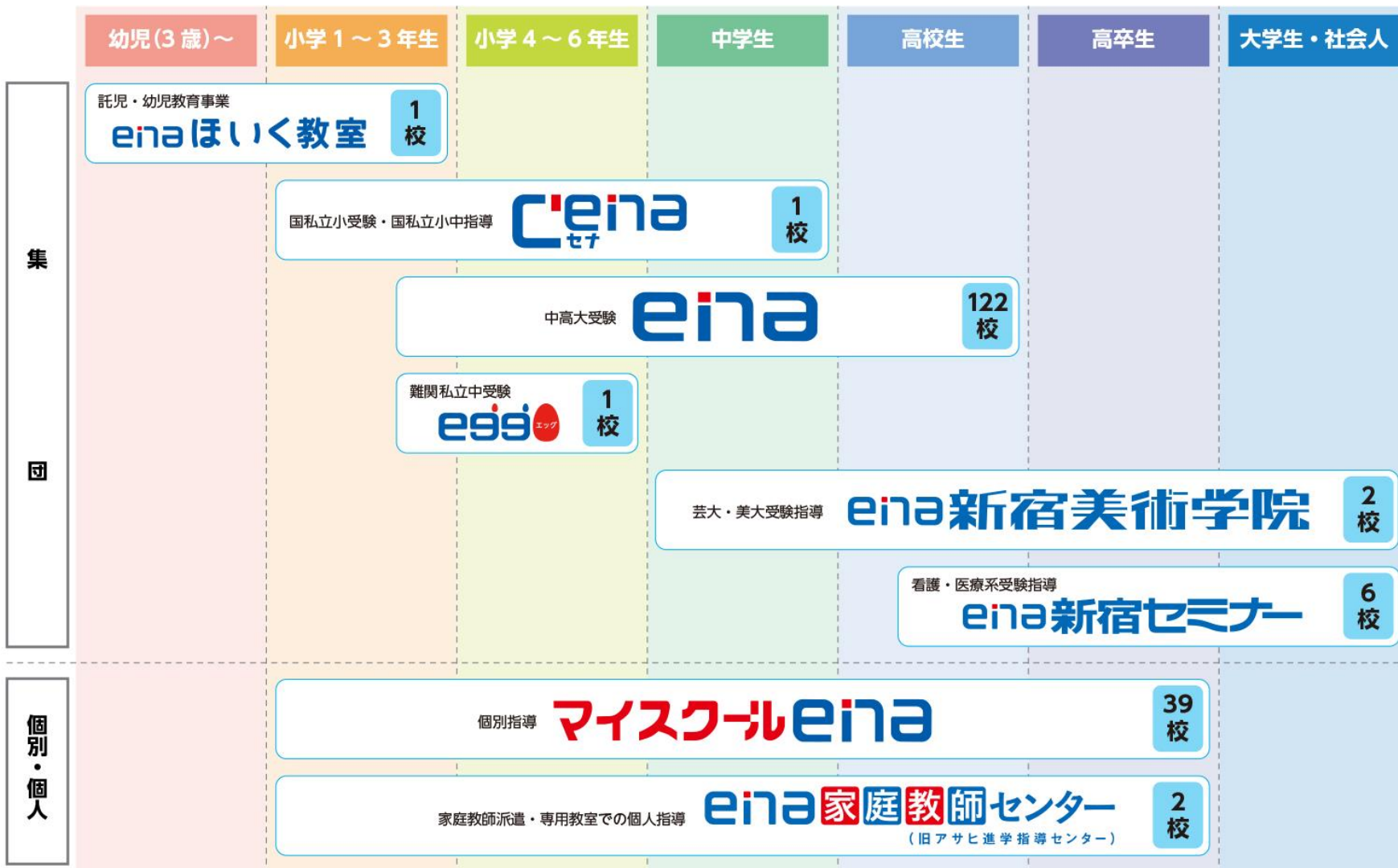
長期にわたる安定基盤の確立に努めるとともに、株主の皆様への業績に対応した成果の配分を行い、利益還元を強化してまいります。

Ⅲ. 参考資料

■学究社グループ経営理念



G 学究社 当社ブランドの特長（参考）



幅広い年齢層に対応した、生徒・保護者様からのさまざまなニーズにこたえるブランド構築

※校舎数は平成25年11月27日現在。

校舎・授業風景(参考)

[校舎外観]



[校舎内の様子]



[授業風景]



[清里自然学校]



本資料に掲載されている株式会社学究社の現在の計画、見通し、戦略、確信等のうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。

これらの情報は、現在入手可能な情報から株式会社学究社の経営者の判断に基づいて作成されております。

実際の業績は、さまざまな重要な要素により、業績見通しとは大きく異なる結果となりうるため、業績見通しのみで全面的に依拠することは控えるようお願い致します。

また、本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるようお願い申し上げます。